

「愛は…不義を喜ばず、真実を喜ぶ」

(I コリント書13章6節)

○北朝鮮によるミサイル発射 ー子どもたちのために「今」できることー

先週の金曜日の朝。北朝鮮のミサイルが再び北海道上空を通過しました。暴風雪で近隣の小学校が休校となった際に「クラスの連絡網」で「休園」を早朝にお知らせしたことはありました。しかし、「園バスの連絡網」をバス出発前に使用したのは初めてのことでした。早番の教師と園長の二人で電話対応をしましたが、7時20分から連絡網を回し始めて一段落したのが8



時過ぎのことでした。早朝の忙しい時間帯ということもあり、携帯電話につながらない家庭も多くありました。固定電話の時代には考えなくてもよかったことを視野に入れていかなければなりません。しかしながら今回のことで安全を期するために園側の対応で改善すべき点や保護者の皆さんにお願いすべき点が様々見つかったことは幸いなことでした。今回のミサイルは1発でしたが、2発、3発と連続で発射が行われるということも想定する必要があるでしょう。

さて、今日の聖書の箇所は結婚式でよく読まれる「愛」についての箇所です。「不義」とは「間違ったこと(愛がないこと)」です。別の箇所では「不義はすべて罪です(Iヨハネ5章17節)」とも言われています。先日、遠足で円山動物園に出かけましたが、幼稚園児が2列で並んで進んでいるのに、小学生たちがその列を分断する形で走って通りすぎる場面が何度もありました。譲り合いの精神が見られない子どもが増えたのでしょうか。「子は親の鏡」と言われますから、「自分勝手に自己中心(罪)」な大人が増えたのでしょうか。ベテランの教師からは「昔と明らかに違う」という声があがっています。

「愛がない社会・世界」は「愛がない大人(罪人)」が作り出すものです。その極みが「戦争」となるのでしょうか。世界が「平和」になるためには「愛がある大人」が増えて「愛がある社会」を実現する必要があります。自分自身の心を変えるのは難儀なことですが、「私」が「今」変わらなければならないというのが聖書の発想です。もっといえば、人間の心を変えるのは神様の仕事です。神様の言葉を真剣に聞いて祈る子どもたちの心には愛が芽生えています。七五三祝福<10月15日(日)午後10時半~予定>やクリスマスなど、どうぞ親子で麻生教会の礼拝にいらしてください。きっと心があたたかくなるでしょう。

麻生明星幼稚園 園長 久保哲哉